

THE BULLETIN OF TOYO UNIVERSITY

No.70

Faculty of Letters
Department of Education

XLII

2016

CONTENTS

- A Study on the Establishment and Development of Special Curricular Activities in the Elementary School:
Focusing on the Relations between Moral Education Classes and Special Curricular Activities
..... ITABASHI Masanori..... 1
- Elementary School Foreign Language Activities in Consideration of Educational Connection between
Elementary and Junior High School:
Using Awareness Survey to Junior High School Students
..... ITO Setsuko..... 11
- How Do I Consider Moral Education Using the Anthroposophise of Rudolf Steiner:
Through Holistic Interpretation of "Marchen"
.....SHIMODA Yoshiyuki..... 23
- A Study of Female Teachers from Tokyo University
..... SUDA Masashi..... 33
- A Study of School Types and the School's Curriculum Installed in Designated Center Hospital of
Childhood Cancer by the Ministry of Health, Labour and Welfare:
Focused on the Special Needs School for Students with Health Impairments
..... TAKIGAWA Kuniyoshi..... 51
- Fundamental Study on the Development of Data Interpretation Ability in Students from a Lower
Secondary School Science Inquiry:
A Focus on the Prediction of Results Following Hypothesis Formulation
..... MIYAMOTO Naoki..... 59
- A Study on Higher Education Policy:
University Evaluation and Higher Education as Goods to Purchase
..... FUJIMOTO Norihiro..... 69

Published by
TOYO UNIVERSITY
Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

ISSN 1347-4960

東洋大学
文学部紀要

第70集

教育学科編

XLII

東洋大学文学部紀要

第70集

教育学科編 XLII

2016年度

二〇一六年度



東洋大学

東洋大学文学部紀要

第 70 集

教育学科編 XLII

目 次

小学校における特別教育活動の成立と展開 —「道徳の時間」との関連に着目して—	板橋雅則.....	1
小中連携を考慮した小学校外国語活動 —中学生への意識調査を通して—	伊藤 撰子.....	11
シュタイナーの人間観・世界観と道徳教育 —「メルヘン」のホリスティックな解釈を通して—	下田好行.....	23
東洋大学における女性教育者の輩出 —東洋大学男女共学100周年記念事業学生参加企画報告—	須田将司.....	33
厚生労働省指定小児がん拠点病院に設置されている学校種と教育課程の実際 —特別支援学校（病弱）に焦点をあてて—	滝川国芳.....	51
中学校理科におけるデータ解釈能力育成に関する基礎的研究 —仮説設定後の「結果の予想」に着目して—	宮本直樹.....	59
高等教育政策に関する一考察 —大学評価と高等教育の商品化の観点から—	藤本典裕.....	69
2016年文学部教育学科研究活動報告.....		79

2016年文学部教育学科研究活動報告

(2016年1月～12月)

板橋雅則

<研究活動>

【論文】

1. 板橋雅則「道徳授業における目標の変容に関する史的考察—小学校学習指導要領の検討を中心に—」筑波大学道徳教育研究会『筑波大学道徳教育研究』第17号、2016年3月、67-76頁。
2. 板橋雅則「道徳授業における『問題解決学習』の実践史的考察」東洋大学文学部教育学科『東洋大学文学部紀要』第69集教育学科編XLI、2016年3月、55-64頁。
3. 板橋雅則「小学校の道徳授業における『問題解決的な学習』の特質」日本倫理道徳教育学会設立準備委員会『倫理道徳教育研究』特別号、2016年10月、44-53頁。

【学会発表】

1. 板橋雅則「小学校における特別教育活動の成立に関する一考察—「道徳の時間」創設との関連に着目して—」日本特別活動学会第25回大会（東京学芸大学）、2016年8月28日。
2. 板橋雅則「特別の教科 道徳の課題」教育実践学会第24回大会（常磐大学）、2016年11月27日。

<教育活動>

【学内】

(学部) 道徳教育論、特別活動の理論と方法、教職実践演習

【学外】大正大学「道徳教育の指導法」

國學院大學栃木短期大学「教師論」

<学会活動>

関東教育学会（会員）

教育史学会（会員）

日本教育方法学会（会員）

日本道徳教育学会（会員）

日本特別活動学会（会員）

伊藤摂子

<研究活動>

【学会発表】

1. 「小学校教員が受けた役立つ研修と求める研修—現場教員への質問紙調査分析から—」第16回小学校英語教育学会宮城大会（宮城教育大学）2016年7月
2. 「小学校教員の指導に対する不安感とは何か—大学生の英語テスト結果から要因を探る—」第16回全国英語教育学会埼玉大会（独協大学）2016年8月
3. 「小学校教員から見た大学教員養成のあり方～「外国語活動」指導に必要な英語力育成を中心に～」言語教育エキスポ2016（大学英語教育学会）2016年3月

【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費補助金（挑戦的萌芽研究 2015年度—2017年度）研究分担者「小学校英語教育のための大学英語教材開発」（研究代表者：明星大学 高橋和子教授）

<教育活動>

【学内】

(学部) 小学英語教育法、小学英語特講、大学生として学ぶ(一部、二部)、教育学演習I(一部、二部)、初等教育実践演習

【学外】

<大学・学部管理運営活動>

1. 外国語活動指導法研究1・2（明星大学）
2. 教員免許講習（小学校英語）2016年8月、12月（明星大学）
3. 外国語活動指導法研究1・2 通信スクーリング（明星大学）

<学会活動>

1. 小学校英語教育学会（会員）
2. 児童英語教育学会（会員）
3. 関東甲信越英語教育学会（会員）
4. 全国英語教育学会（会員）
5. 大学英語教育学会（会員）
6. 全国語学教育学会（会員）
7. 日本英文学会（会員）

<社会的活動等>

1. 文京区外国人おもてなし英会話講座 (8回、東洋大学) 2016年10月~12月
2. 学校評議委員 東久留米市立第七小学校

榎本 淳子

<研究活動>

【著書】

1. 榎本淳子 (2016). 第1章 子どもの生活と学校, 第2章 第2節 生徒指導・進路指導 藤本典裕 (編著) 新版 教職入門 図書文化, pp. 16-36, 63-81

【論文】

1. 榎本淳子・中道直子 (2016). 批判的思考力はどのような学習方略から育成されるのか? 東洋大学文学部紀要教育学科編 69, 65-70
2. Apers, S., et al. (2016). Quality-of-life in adult congenital heart disease in 15 countries: Integrating population measures and cultural dimensions. *Journal of the American College of Cardiology*, 67, 2237-2245.

【学会発表: シンポジウム】

1. 「先天性心疾患患者のQuality of Life: 国際調査における日本の特徴」 第18回日本成人先天性心疾患学会総会・学術集会 シンポジウム「先天性心疾患患者のメンタルケア」(招待発表: 大阪, 2016年1月)
2. 「The quality of life of Japanese adult patients with congenital heart disease in an international context.」 Psychosocial Working Group of the Association for European Paediatric and Congenital Cardiology (Netherlands, March 2016)

【研究助成】

日本学術振興会科学研究費基盤研究C (平成26-28年度) 「先天性心疾患患者の心理社会的発達課題と支援ツールの開発」(研究代表 榎本淳子)

<教育活動>

【学内授業担当 (学部)】

教育心理学, 生徒指導論, 生徒指導研究, 教育実習 I II, 教育学ゼミナール I II, 教育学卒論ゼミナール

【学内授業担当 (大学院)】

教育相談学特殊講義

<学会活動>

日本教育心理学会 (会員)
日本発達心理学会 (会員)
日本心理学会 (会員)
日本心理臨床学会 (会員)
日本小児循環器学会 (会員)
International Society for Adult Congenital Heart Disease (member)
American psychological association (member)
<社会的活動>
千葉県循環器病センター 臨床心理士

大貫 眞弘

<研究活動>

【著書】

1. 共著『[第二版] 実践国語科教育法—「楽しく、力のつく」授業の想像』学文社、2016年3月、担当部分「2章 発問・指示」(20-30頁)、「国語教育の基礎的・基本的事項 (1)」(83頁)、「14章 国語教育におけるメディア・リテラシー」(172-183頁)、「国語教育の基礎的・基本的事項 (2)」(160頁)

【論文】

1. 「言語生活を豊かにする文法学習のために」『月刊国語教育研究』通巻527集、日本国語教育学会、2016年3月、22-27頁

【その他】

1. 「授業者は教材の「何」を授業するのか」『言語技術教育』第26号、日本言語技術教育学会、2016年8月、30-31頁
2. 日本言語技術教育学会第26回大会 (2016年8月6日) 「言語技術が見える授業づくり」パネリスト

<教育活動>

【学内】

(学部) 「国語科指導法 I II」「初等教科教育法 (国語)」「初等科国語」「教育学演習 I」「教育学ゼミナール I II」(以上1部) 「教職実践演習」(2部)

(大学院) 「国語科教育研究演習」

<大学・学部管理運営活動>

2020東京オリンピック・パラリンピック連携事業委員

<学会活動>

全国大学国語教育学会、日本国語教育学会、日本

言語技術教育学会、国文学 言語と文芸の会、日本教材学会、早稲田大学国語教育学会、他

緒方 登士雄

<研究活動>

【論文】

「知的障害児・者への「身体介助」の意義の検討：身体介助から動作援助への転換とコミュニケーション事態としての動作援助過程」. 東洋大学「エコフィロソフィア」研究、第10号、p123-131、2016年3月.

【講演】

1. 東洋大学社会貢献事業講師 「障がい児・者への発達支援—豊かなコミュニケーションを育むために」 会場：長野県上田養護学校

<教育活動>

【学内】

(学部) 肢体不自由児・者の教育臨床、肢体不自由児の指導法、特別支援学校教育実習、教育学演習

(大学院) 発達障害児臨床心理研究特殊講義、教育学特殊研究、教育学研究指導

【学外】 青山学院大学大学院 「障害者(児)心理学演習」

<大学・学部管理運営活動>

1. 学生相談室専門員
2. 障がい学生支援室(バリアフリー推進室)スーパーヴァイザー
3. 東洋大学人間科学総合研究所発達臨床相談室室長

<学会活動>

1. 日本発達障害学会(会員)、日本心理臨床学会(理事)、日本リハビリテーション心理学会(常任理事)、日本臨床動作学会(常任理事・事務局長)、日本教育心理学会(会員)、日本心理学会(会員)、日本特殊教育学会(会員)
2. 日本心理臨床学会第35回大会の研究発表の座長および自主シンポジウムの企画・司会
3. 日本臨床動作学会第24回大会シンポジウムのシンポジスト

<社会的活動等>

1. 東洋大学人間科学総合研究所発達臨床相談室相談員、九州大学大学院人間環境学府附属「発達臨床心理センター」研究員、日本臨床心理士会会員

2. 大阪大学「心理リハビリテーションキャンプ」にスーパーヴァイザーとして参加者(障害児・者、教育・福祉関係者、保護者)への指導・助言

3. 国家公務員共済組合連合会三宿病院主催研修会 講師

桂 直美

<研究活動>

【研究助成】

日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))(2015年度-2017年度)「新任期における教師の成長のナラティブスタディ—生きられた経験としてのカリキュラム—」(研究代表者)

<教育活動>

(2016年度、海外特別研究)

<学会活動>

【所属する学会と役職等】

日本教育方法学会 会員

日本教育学会 会員

日本音楽教育学会 会員

日本デュイ学会 会員

日本カリキュラム学会 会員

日本教材学会 会員

日本学校音楽教育実践学会 会員

日本民俗音楽学会 会員

日本質的心理学会 会員

American Educational Research Association 会員

北澤 俊之

<研究活動>

【論文】

「身近な世界との関係を編み直すための造形教育プログラムの研究—子どものユーモアを切り口として—」日本美術教育連合『日本美術教育研究論集』第49号、pp.29-40、2016.3

【研究発表】

1. 「新カリキュラムと教育実習」、第34回東京学芸大学教育実習研究シンポジウム、東京学芸大学、2016.1.27
2. 「ユーモアを基盤とした造形教育プログラムの構想」、第50回日本美術教育研究発表会、東京家政大学、2016.10.16

【研究助成】

日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))
(2016年度-2018年度)「身近な世界との関係を編み直すための造形教育プログラムの開発」(研究代表者:北澤俊之)

【作品発表】

「WAの会展」、ギャラリー2104、2016.9.6~11

<教育活動>

【学内】

(学部) 初等図画工作(2コース・0.5コマ)、初等教科教育法(図画工作)(2コース・0.5コマ)、授業論(0.5コマ)、教育実習ⅠⅡ(一部・0.5コマ)、教育学演習ⅠⅡ(一部・1コマ)、教職実践演習(二部・0.5コマ)、初等教育実践研究B(1コマ)

(大学院) 図画工作・美術教育研究演習(0.5コマ)
(通信) 教育実習ⅠⅡ(0.5コマ)

<学会活動>

日本美術教育連合(監事)、造形教育センター(アーカイブ委員)、全国大学造形美術教育教員養成協議会(委員)、美術科教育学会(会員)、大学美術科教育学会(会員)

<社会的活動等>

1. 平成28年度 文京区立柳町小学校学校関係者評価委員会委員長
2. 開隆堂 図画工作教科書編著者
3. 造形・美術教育力養成講座 講師(公益社団法人日本美術教育連合主催 聖心女子大学 2016.8.22)
4. 全国児童画コンクール(毎日新聞社主催) 審査員2015.10.9
5. 世界こども図画コンテスト(家の光協会主催) 審査員2016.10.29
6. 私のアイデア貯金箱コンクール(郵貯銀行主催) 審査員2016.10.19

吉 良 直

<研究活動>

【論文】

1. 大桃敏行、吉良直他著「公立学校の多様化とアカウントビリティ政策の展開:ワシントンD.C.を事例として」『東京大学大学院教育学研究科紀要』55巻、2016年3月31日、pp.425-444.

【翻訳】

1. ネル・ノディングズ著、佐藤学監訳(2016)『学

校におけるケアの挑戦—もう一つの教育を求めて』(第2刷)ゆみる出版(分担翻訳:第5、9、10、12章担当).

【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)「米国研究大学における将来の大学教員準備プログラム(PFF)に関する実証的研究」(研究代表者:吉良直).
2. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究A)「ガバナンス改革と教育の質保証に関する理論的実証的研究」(連携研究者)(研究代表者:大桃敏行).

【学会発表】

1. 「米国研究大学における学習評価能力養成を目指す大学教員準備プログラムの展開」大学教育学会第38回大会(立命館大学、6月12日).
2. 「米国初等中等教育法(ESEA)の最新の再改定法の制定背景に関する研究」日本比較教育学会第52回大会(大阪大学、6月25日).
3. 「半世紀を迎えた米国初等中等教育法の変遷の考察—ESEAから最新再改定法(ESSA)まで—」『ラウンドテーブル⑬:テスト体制下の米国における初等中等教育改革の展開』日本教育学会第75回大会(北海道大学、8月23日).
4. 「米国研究大学における大学院生を対象としたティーチング・ポートフォリオ作成支援に関する研究—日本への示唆」京都大学大学教育研究フォーラム(京都大学、2017年3月20日)[栗田佳代子(東京大学)、吉田壘(東京大学)との共著論文].

<教育活動>

【学内】

(学部) 教育学概論(1部初等教育専攻、人間発達専攻、2部)、社会文化史(西洋)／教育史学説B(1部、2部)、教育思想(1部、英語開講)、教育思想(2部)、教職実践演習(中高)、教育学ゼミナールI及びII、教育学卒論ゼミナール

(大学院) 教育学説研究特殊講義(通年、英語開講)、教育学説研究特殊講義A・B(英語開講)、教育学研究指導VII(通年)、教育学研究指導VII A・B

【学外】日本教育大学院大学「世界の学校教育研究特論」、 「異文化間教育研究特論」

<学会活動>

1. 日本教育学会 会員
2. 日本教育哲学会 会員
3. 日本比較教育学会 学会誌紀要編集委員会委員
4. 日本教育行政学会 国際交流委員会委員
5. 大学教育学会 会員
6. アメリカ教育史研究会 会員
7. Comparative and International Education Society 会員
8. Professional and Organization Development (POD) Network in Higher Education 会員

栗原 久

<研究活動>

【学会発表】

1. 栗原久「貿易に対する見方や考え方の現状と反外国バイアスの克服」第24回グローバル教育学会全国研究大会（広島経済大学），2016年9月10日。
2. 猪瀬武則・小貫篤・山根栄次・栗原久・高橋桂子・宮原悟・服部一秀「倫理的多元主義による経済学習の授業構成と展開」全国社会科教育学会第65回全国研究大会（兵庫教育大学），2016年10月8日。
3. 栗原久「『反外国バイアス』を克服する経済の授業—交換の利益への気づきから貿易の意義の理解へ—」日本社会科教育学会第66回全国研究大会（弘前大会），2016年11月6日。

【研究助成】

1. 研究分担者・栗原久「幸福・効率・公正から再編成する経済教育プログラムの開発」（研究代表者・猪瀬武則日本体育大学教授，平成26～28年度，基盤研究（B））
2. 研究分担者・栗原久「現代社会の課題を考察する見方や考え方を身に付けさせる公民教育カリキュラムの再構築」（研究代表者・唐木清志筑波大学准教授，平成26～28年度，基盤研究（B））

【その他】

1. 栗原久「公民的な基礎知識・概念の定着」『社会科教育No.681』明治図書，2016年1月。
2. 栗原久「社会諸科学を基礎に定番教材の適切な指導を」『社会科教育No.687』明治図書，

2016年7月。

【講演会】

1. 栗原久「経済学習におけるアクティブラーニングの進め方」日本取引所グループ・経済教育ネットワーク「先生のための『夏休み経済教室』—授業に役立つ経済学—」（名古屋・大阪・東京），2016年8月。
2. 栗原久「経済教育の理論と公民の授業づくり」長野県総合教育センター「教科等教育研修」2016年10月13日。

<教育活動>

【学内】

（学部）教育学入門ゼミナール，教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ，教育学卒論ゼミナール，社会・公民指導法Ⅰ・Ⅱ，教育実習Ⅰ・Ⅱ
 （大学院）学習指導論特殊講義・教育学研究指導Ⅴ，教育学特殊研究・教育学研究指導（通信）教職実践演習

【学外】埼玉大学教育学部「社会科指導法D（公民科）」，茨城大学人文学部「公民科指導法」

<大学・学部管理運営活動>

1. 文学部カリキュラム検討委員会委員

<学会活動>

1. 日本社会科教育学会幹事，学会誌副編集長
2. 日本公民教育学会副会長

<社会的活動等>

1. 日本証券業協会「金融・証券教育支援委員会」委員。

斎藤 里美

<研究活動>

【論文】

1. 「武雄市「ICTを活用した教育」の成果と課題」，東洋大学現代社会総合研究所『現代社会研究』第13号，2016年3月10日，pp.35-44。（松原聡，澁澤健太郎，藤井大輔，小河智佳子と共著）
2. 「人工知能は教師の役割をどう変えるか—教師に求められる役割と倫理—」『音楽教育学』第46巻第1号，2016年8月31日，pp.31-36。

【著書および分担執筆】

1. 「第2章第1節 学習指導」藤本典裕編『新版 教職入門—教師への道—』図書文化社，2016年3月，pp.38-62。
2. 「移民の教育と学力問題を分析する視角—OECD移民調査の評価指標とその意味—」，園

山大祐編『岐路に立つ移民教育 社会的包摂への挑戦』ナカニシヤ出版, 2016年7月, pp.209-223.

【翻訳】

1. 「イノベティブな学習環境に向けて：学習づくりのリーダーシップ」, OECD編著『21世紀型学習のリーダーシップ イノベティブな学習環境をつくる』明石書店, 2016年9月, pp.23-33. (原著：OECD [2013], *Leadership for 21st Century Learning : Educational Research and Innovation*)

【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)「EUにおける移民第二世代の学校適応に関する人類学的研究」(研究代表者：山本須美子).
2. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)「日・独・英・仏における移民の学業達成に関する研究」(研究代表者：園山大祐)

【学会発表】

1. 「移民・難民の子どもたちの教育成果をどう測るか—学習権保障とは何か—」日本比較教育学会第52回研究大会ラウンドテーブル4「欧州難民危機における子どもの学習権保障に向けた各国の対応」, 大阪大学, 2016年6月24日.
2. 「武雄市「ICTを活用した教育」による効果の検証—「スマイル学習」に関する児童・生徒アンケートの結果を中心に—」, 公益事業学会関東部会, 東洋大学, 2016年11月19日(小河智佳子, 藤井大輔と共同発表).
3. 「武雄市「ICTを活用した教育」の成果と課題—武雄式反転授業に関する教職員アンケート調査を中心に—」, 教育目標・評価学会第37回大会, 一橋大学, 2016年11月27日(藤井大輔, 小河智佳子と共同発表).
4. 「武雄市「ICTを活用した教育」による効果の検証—「スマイル学習」に関する保護者アンケートの結果を中心に—国際公共経済学会第31回研究大会, 大阪市立大学, 2016年12月4日(藤井大輔, 小河智佳子と共同発表).

【書評】

田中耕司編著『グローバル化時代の教育評価改革』(『教育目標・評価学会紀要』第26号, 2016年12月, pp.73-75).

【その他】

1. 「市民教育としての「原子力」教育」『月刊エネルギーレビュー』, 431号, 2016年11月20日, p.42.

【講演等】

1. 「グローバル教育の文脈で専門科目をとらえ直す」, Global Engineering Education Collegium (GEEC) 第1回研究会「東洋大学における国際化教育の取り組み—事例報告と課題および将来展望—」, 東洋大学川越キャンパス1104教室, 2016年3月15日.
2. 「ICT活用と21世紀型スキル」東洋大学現代社会総合研究所ICT教育研究プロジェクト公開研究会「ICT教育の現状と課題」, 東洋大学白山校舎125ホール, 2016年3月21日.
3. 「多民族社会・移民社会における異文化間教育—シンガポールの社会科教材から考える」, 京都大学大学院人間・環境学研究科主催 国際研究集会「異文化間教育の文脈化をめぐる」京都大学人間・環境学研究科地下講義室, 2016年3月29日.
4. 「子どもの表現力を育てるには」, 京都府宮津市教育委員会主催講演会, 宮津歴史の館, 2016年9月4日.
5. 「子どもが学びにときめく身近な工夫」, 東京都国立市教育委員会主催講演会, くにたち市民総合体育館, 2016年9月10日.
6. 「日本語教科書に期待すること」, 人間科学総合研究所主催研究発表会, 東洋大学125記念ホール, 2016年11月11日.
7. 「学ぶ意欲とスキルを育てる」, 広島県大竹市教育委員会主催講演会, 大竹市総合市民会館, 2016年11月20日.

<教育活動>

【学内】

(学部) 学校教育社会学(1部, 2部), 比較社会論(1部), 教育学演習Ⅰ、教育学ゼミナールⅠおよびⅡ(1部), 教育学卒論ゼミナール, 教職実践演習, 全学総合科目ⅠB
(大学院) 学校教育研究特殊講義, 教育学研究指導Ⅳ(以上、博士前期課程), 教育学特殊研究Ⅴ, 教育学研究指導(以上、博士後期課程)

<大学・学部管理運営活動>

1. 大学院文学研究科教育学専攻長(2015年4月

～現在)

2. 東洋大学アジア文化研究所運営委員, 研究年報編集委員

<学会活動>

1. 教育目標・評価学会 理事および紀要編集委員
2. 日本教育学会 会員
3. 日本教育社会学会 会員
4. 日本比較教育学会 会員
5. 日本教師教育学会 会員
6. 人工知能学会 会員

<社会的活動等>

1. 華中科技大学外国語学院 客員教授
2. 特定非営利活動法人 リビングバリュー推進協会 副理事長

下田好行

<研究活動>

【論文】

- ・「競争原理を超えて人間を人間にする教育を一意志と直感の教育への転換—」平成27年度研究紀要No.45『教育の諸課題Ⅱ』公益財団法人・日本教材文化研究財団、2015.3、pp.37-43.
- ・「R.シュタイナーの道德教育の特質—「道徳的想像力」とメルヘンとの関係を中心に—」『東洋大学文学部紀要』第69集、教育学科編XLI、2015年度、PP.71-79.
- ・「教師の情報モラルと人権感覚の意識—「学校ホームページ」と「学級通信」の調査を通して—」日本倫理道德教育学会『倫理道德教育研究』特別号、2016.10、pp.64-74. (査読有)

【その他】

- ・「心の教育の在り方」教育新聞社『教育新聞』第3449号、2016.6.13
- ・『児童福祉文化財年報—社会保障審議会推薦児童福祉文化財目録—(平成27年度)子どもたちの豊かな想像力のために』2016.8、文化財の選定
- ・「シュタイナーの人間観・世界観と道德教育」関東教育学会第64回大会準備委員会『関東教育学会第64回大会発表要旨集録』2016.11.26、pp.14-15

【研究発表】

- ・「シュタイナーの人間観・世界観と道德教育—「メルヘン」のホリスティックな解釈を通し

て—」関東教育学会第64回大会、2016.11.26、鎌倉女子大学

【研究助成】

- ・科学研究費補助金基盤研究C「ホリスティックな視点に立つ道德教育の研究」研究代表、日本学術振興会、2015.4～現在

<教育活動>

【学内】

(学部) 教育方法論 (教育学科Ⅰ部: 初等教育・人間発達、教育学科Ⅱ部) 教育方法研究 (文学部、社会学部、経営学部) 教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ 教育学卒論ゼミナール

(大学院) 学習指導論研究演習 教育学研究指導Ⅷ

(通信) 教育実践演習

【学外】

- ・筑波大学 教職課程「特別活動論」講師 2.18. 2.29

<学会活動>

- ・日本教材学会 理事
- ・日本国語教育学会 理事
- ・日本教材学会 第3部会 委員長
- ・日本倫理道德教育学会 監査

<社会的活動>

- ・厚生労働省 社会保障審議会 福祉文化分科会 委員 出版物委員会 委員長 (平成27年度版『子どもたちの読んでほしい本』厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財(厚生労働省)作成)
- ・平成28年度児童福祉文化賞審査委員 (一般財団法人・児童健全育成推進財団)
- ・独立行政法人・日本学術振興会 科学研究費審査委員
- ・品川区立上神明小学校 校区教育協働委員会 委員長 2016.4.1～
- ・日本教材文化研究財団 評議員

篠崎信之

<研究活動>

【著書】

1. 第2章第3節 教育相談 藤本典裕(編著) 新版 教職入門 図書文化、pp.82-89

<教育活動>

【学内】

(学部) 教育相談の理論と方法 (I・II部)、教育相談 (I・II部)、教育学ゼミナール I・II (I部)、教育学卒論ゼミナール (I・II部)

(大学院) カウンセリング実習、臨床教育心理治療法特殊講義

(通信) 教育相談

<大学・学部管理運営活動>

1. 1部教育学科長
2. 1部教育学科人間発達専攻長
3. 東洋大学人間科学総合研究所紀要編集委員会委員

<学会活動>

1. The International Transactional Analysis Association (Regular Member、Certified Transactional Analyst)
2. 日本交流分析学会 (評議員)
3. 日本TA協会 (理事)
4. 日本心理学会 (会員)
5. 日本パーソナリティ心理学会 (会員)
6. 日本健康心理学会 (会員)
7. 日本感情心理学会 (会員)
8. 日本キャリア教育学会 (会員)

<社会的活動等>

1. ひらかわクリニック非常勤臨床心理士

須田 将司

<研究活動>

【論文等】

1. 「報徳教育の錬成論的な形成と展開 —加藤仁平のイデオログ性に着目して—」『東洋大学文学部紀要』第69集教育学科編 X L I、2016年3月、81～95頁
2. 「1930年代半ばにおける「新興報徳運動」と報徳教育の広がり—栃木県・島根県の実践と言説に着目して—」日本教育史学会『日本教育史学会紀要』第6巻、2016年3月、40～57頁
3. 「学級経営」「教師に求められる資質・能力」(藤本典裕編『新版教職入門—教師への道—』図書文化社、2016年3月、90～114頁)
4. 「日中戦争期における「学校常会」論の広がり—培地となった「国民訓育連盟」と「日本青年教師団」—」教育史学会『日本の教育史学』第59集、2016年10月、32～44頁。

【学会発表】

1. 「国民学校令下の「少年団錬成」論に関する一考察—「共励切磋」を目指す少年団常会論に着目して—」教育史学会第60回大会、横浜国立大学、2016年10月2日

【研究会報告・講演等】

1. 「福島県教育会相馬部会の点描—『原町市史』・『相馬市史』編纂のなかで見出した姿—」科学研究費補助金 (基盤研究B)「日本型教育行政システムの構造と史的展開に関する総合的研究」第3回研究会、立教大学、2016年1月10日
2. 「小学校教員の教育研究活動に関する総合的研究(案)」野間教育研究所「1950年代教育史」研究部会第2回、2016年1月15日
3. 「1950年代の民間教育研究活動の形成と展開に関する基礎的分析 - 「民教」・「民教協」と東北・愛知の事例 - 」野間教育研究所「1950年代教育史」研究部会第5回、2016年5月20日
4. 「大槻健『戦後民間教育運動史』(あゆみ出版、1982年)の内容と神奈川県の実例」野間教育研究所「1950年代教育史」研究部会第7回、2016年8月3日
5. 「日本人の道徳観について」東京都荒川区立第三峡田小学校道徳授業地区公開講座講演会、2016年10月15日
6. 「川合章『教育研究 創造と変革の50年』の内容分析」野間教育研究所「1950年代教育史」研究部会第10回、2016年12月9日

【その他】

1. 「プラス5点の10分間講座—教育史分野—」時事通信出版局『教員養成セミナー』2016年4月号(日本教育史)。同2016年5月号(西洋教育史)。

【研究助成】

1. 日本学術振興会平成26～28年度科学研究費補助金 (挑戦的萌芽)「学力向上を支える教員文化の創造に関する基礎的研究」(研究分担者)
2. 日本学術振興会平成27～29年度科学研究費補助金 (基盤研究B)「日本型教育行政システムの構造と史的展開に関する総合的研究」(研究分担者)

<教育活動>

【学内】

(学部) 社会文化史(日本)、教育史、教育基礎論
I、教育基礎論II、教育学演習(I部・II部)

(大学院) 教育学特殊研究Ⅻ、比較教育史演習研究

<大学・学部管理運営活動>

1. 文学部自己評価・点検委員会

その他：東洋大学居合道同好会顧問

【学外】

(立教大学文学部教育学科兼任講師) 社会科教育法

<学会活動>

1. 教育史学会(会員)
2. 日本教育学会(会員)
3. 全国地方教育史学会(常任幹事、第39回大会(5月21~22日)開催校)
4. 日本教育史研究会(世話人、事務局長)
5. 日本教育史学会(幹事)
6. 日本教師教育学会(会員)
7. 日本社会科教育学会(会員)
8. 関東教育学会(会員)
9. 福島大学教育学会(会員)

<社会的活動等>

1. 福島県南相馬市「原町市史編さん事業」専門研究委員
2. 福島県相馬市「相馬市史編さん事業」近代・現代部会調査執筆委員
3. 公益財団法人野間教育研究所兼任研究員(「1950年代教育史」研究部会)
4. 文京区立明化小学校学校関係者評価委員長及び校内研究「子供を学びの主体者とする授業の創造」助言者(4月15日研究全体会、5月13日6年生「学級活動」、6月6日4年生「理科」、9月6日3年生「社会」、10月14日1年生「算数」)

関直規

<研究活動>

【著書・論文等】

1. 「20世紀前半イギリスのろう教育の地域的組織化に関する一考察—ロンドンの『デフ・インスティテュート』の構想と展開」『東洋大学大学院紀要』第52集、2016年3月、pp.433-446。

【研究助成】

1. 日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究(C)(研究代表者関直規)「社会教育・成人教育活動における公立学校の地域開放史に関する日英比較研究」(25381092)(2013年度~2015年度)。
2. 日本学術振興会科学研究費助成事業・基盤研究(C)(研究代表者関直規)「学習支援体制の構築における地域人材の発掘・活用に関する日英比較史研究」(16K04568)(2016年度~2018年度)。

【その他】

1. 「グローバル化と社会教育研究の新しい視点」(単著)『2015年度教育学ゼミナールI・II卒業論文ゼミナール 社会教育学研究成果報告書』第6号、2016年1月、はじめに。
2. 所沢市社会教育委員会議「子育てを支える『チームワーク』—家庭教育の充実を目指して—」(審議のまとめ)(共著)、2016年8月。

<教育活動>

【学部担当授業科目等】

(学部)「教育学演習I」(第1部)、「教育学ゼミナールI・II」(第1部・第2部)、「教育学卒業論文ゼミナール」(第1部・第2部)、「社会教育計画論I・II」(第1部・第2部)、「文化地誌学」(第1部・第2部)、「総合IA/IB、ⅧA/B 私学の役割と目的—人間教育の担い手—」(日本の近代化と東洋大学—井上円了の哲学と実践—、校友会寄附講座、渡辺章悟等と共同担当)

(大学院)「教育文化論特殊講義」

<大学・学部管理運営活動>

1. 社会貢献センター運営委員会委員(社会貢献事業検討小委員会委員)
2. 『東洋大学文学部紀要』第69集、教育学科編XLI、編集委員。

<学会活動>

1. 日本教育学会(会員)
2. 日本社会教育学会(会員)
3. 日本公民館学会(副会長、理事、学会年報編集委員会委員長、研究活動促進助成事業選考委員)

<社会的活動等>

1. 所沢市社会教育委員
2. 朝霞市男女平等推進審議会委員

3. 川越市生涯学習基本計画審議会委員
4. 「所沢市社会教育関係団体代表者会議・つなぐミーティング」司会、於所沢市役所、2016年2月。

高野 聡 子

〈研究活動〉

【論文】

1. 高野聡子 (2016) 知的障害者のひきこもり状態の実態と課題—事業所を対象にした質問紙調査の分析を中心として—。聖徳大学研究紀要 (聖徳大学26・聖徳大学短期大学部48), pp.107-113.
2. 高野聡子・吉井涼・下司優里 (2016) ドイツ・バイエルン州における促進学校の現況—学習障害と情緒・社会性発達のための促進学校に焦点をあてて—。児童学研究, 18, pp.99-105.

【学会発表】

1. 高野聡子 (2016) 海外学術雑誌における日本の特別支援教育に関するテーマ—2007年以降のERIC検索結果を中心に—。日本特殊教育学会第54回大会発表論文集。(2016年9月)

【研究助成】

1. 科学研究費補助金(若手研究(B))(2015-2018年度)「日本型インクルーシブ教育のグローバルスタンダードへの積極的アプローチとその戦略」(研究代表者:高野聡子)

【その他】

1. 高野聡子 (2016) 戦前期の八幡学園における教育と処遇方法の歴史—昭和3年~同17年頃までの「踏むな育てよ水そゝげ」の源泉を辿る—。(特別寄稿)平成28年度淑徳大学アーカイブズ特別展図録, pp.41-43.

【講演等】

1. 東京都立王子特別支援学校夏季研修会講師。(平成28年8月29日)

〈教育活動〉

(学部) 知的障害教育総論、知的障害教育課程論、知的障害教育論、特別支援学校教育実習、教育学演習Ⅰ、教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ、教育学卒論ゼミナール

(大学院) 心理適応論研究演習A・B

〈学会活動〉

1. 障害科学学会
2. 日本職業リハビリテーション学会

3. 社会事業史学会
4. 日本社会福祉学会
5. 日本特殊教育学会(編集委員)

〈社会的活動〉

1. 平成28年度東洋大学免許法認定講習講師(平成28年11月,知的障害者教育総論担当)
2. 東京都立特別支援学校知的障害教育外部専門員(平成28年3月31日まで)
3. 全日本特別支援教育連盟研究部員
4. 社会福祉法人藤倉学園評議員

滝川 国 芳

〈研究活動〉

【学会発表】

1. 滝川国芳・西牧謙吾 (2016) 病気の子どもの学び支援システム開発に関する研究—韓国のサイバー学校の取り組みを中心に—。第63回日本小児保健協会学術集会講演集, 201。(2016年6月25日)
2. 合田友美・河合洋子・大見サキエ・滝川国芳 (2016) 看護系大学における慢性疾患の学生に対する支援の実態(第1報)—支援内容に焦点を当てて—。第63回日本小児保健協会学術集会講演集, 140。(2016年6月24日)
3. 河合洋子・合田友美・滝川国芳・大見サキエ (2016) 看護系大学における慢性疾患の学生に対する支援の実態(第2報)—学生の情報共有に焦点を当てて—。第63回日本小児保健協会学術集会講演集, 129。(2016年6月24日)
4. Tomomi Goda, Yoko Kawai, Kuniyoshi Takigawa, Sakie Omi (2016) Actual situation of support for the students with chronic illness at nursing school in Japan — Report on the Current Situation of Training and Awareness Raising Activities —. Global Human Caring Conference-China on October 14-17, 2016.
5. 森口由佳子・橘岡正樹・佐藤薫・滝川国芳 (2016) 小児看護と病弱教育の取り組みと連携。日本育療学会第20回学術集会抄録集, 44。(2016年8月27日)

【研究助成】

1. 平成28年度井上円了記念研究助成「通学が困難な病気療養児へのICT活用による新教育システムとカリキュラムの開発研究」(研究代

表者 滝川国芳), 2016年度.

2. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))「病院訪問教育におけるICTを活用した思考力・判断力・表現力育成に関する実践的研究」(研究代表者 福本徹)研究分担者, 2015-2017年度.
3. 日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(C))「看護系大学における慢性疾患の学生の支援体制構築の検討」(研究代表者 河合洋子)研究分担者, 2015-2017年度.

【その他】

1. 日本健康相談活動学会第12回学術集会シンポジウム「日本における病気の児童生徒への教育支援の実際と今後の課題」, 話題提供者, 東京学芸大学. (2016年3月6日)
2. 日本育療学会第20回学術集会ポスター発表①座長, 宝塚大学大阪梅田キャンパス. (2016年8月28日)
3. 一般社団法人日本LD学会第25回大会(東京)実行委員会実行委員, パシフィコ横浜. (2016年11月18日~11月20日)

【講演等】

1. 「特別支援学校(知的障害)に学ぶ生徒一人一人の自尊感情を高めるための授業づくりの視点」, 東京都立青島特別支援学校, 講演. (2016年6月)
2. 「知的障害のある子どもたちへのタブレット端末の教育的支援の可能性」, 横浜市立本郷特別支援学校, 講演. (2016年7月)
3. 「特別支援学校(病弱)における個別の指導計画作成のポイントと学習指導および評価」, 福井県立福井東特別支援学校, 講演. (2016年7月)
4. 東洋大学全国講師派遣事業講演「障害や病気のある子どものための特別支援教育」, 福島県耶麻郡猪苗代町教育委員会主催, 猪苗代町役場. (2016年8月)
5. 「病弱教育におけるICT活用」, 神奈川県立横浜南養護学校, 講演. (2016年9月)
6. 東洋大学全国講師派遣事業講演「障害や病気のある子どものための特別支援教育」, 福島県田村郡小野町教育委員会主催, 小野町多目的研究集会施設. (2016年10月)
7. 「特別支援学校(病弱)の準ずる教育課程におけるICT活用の実践について」, 石川県立

医王特別支援学校, 講演. (2016年11月)

8. 「障がいや病気のあるすべての子どもに対する特別支援教育の在り方」, 東京都荒川区教育委員会, 講演. (2016年12月)

<教育活動>

【学内】

- (学部) 特別支援教育概論Ⅰ(第1部・第2部)、特別支援教育概論Ⅱ(第1部・第2部)、病弱児の指導法(第1部)、教職総合ゼミナール(第1部)、特別支援学校教育実習、教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ(第1部)、教育学卒論ゼミナール(第1部)
- (大学院) 発達障害児教育研究特殊講義、教育学研究指導Ⅵ、教育学特殊研究XIA・XIB、教育学研究指導XIA・XIB

【学外】

1. 東京慈恵会医科大学医学部非常勤講師
2. 東北福祉大学教育学部非常勤講師
3. びわこ学院大学教育福祉学部非常勤講師

<大学・学部管理運営活動>

1. 東洋大学障がい学生支援委員会委員(学長推薦教職員)
2. 東洋大学教職課程運営委員会専門委員
3. 東洋大学人間科学総合研究所研究員

<学会活動>

1. 日本育療学会(副理事長・事務局長・編集委員)
2. 日本特殊教育学会(会員)
3. 日本LD学会(会員)
4. 日本小児保健協会(会員)
5. 日本特別ニーズ教育学会(会員)
6. 日本学校保健学会(会員)

<社会的活動等>

1. 東洋大学免許法認定講習(病弱者教育総論)
2. びわこ学院大学免許法認定講習(病弱者の心理・生理・病理)
3. 北海道教育委員会免許法認定講習講師(病弱者の心理・生理・病理・教育課程・指導法)
4. 青森県教育委員会免許法認定講習講師(病弱者教育総論)
5. 福井県教育委員会免許法認定講習講師(病弱者・身体虚弱者教育総論)
6. 広島県教育委員会免許法認定講習講師(病弱者教育指導法)
7. 認定NPO法人難病のこども支援全国ネット

ワーク運営委員

谷口明子

<研究活動>

【論文】

1. 谷口明子 (2016). 入院児への教育支援と養護教諭の役割. 健康教室, 67 (7), 76-79

【研究助成】

1. 科学研究費基盤研究(C) (2013年度-2015年度) 「病弱教育におけるキャリア発達支援プログラムの開発」(研究代表者: 谷口明子), 研究代表者 (2016年3月まで)
2. 科学研究費基盤研究(C) (2016年度-2018年度) 「ゲーミングを活用した病弱教育におけるキャリア発達支援プログラム (改訂版) の開発」(研究代表者: 谷口明子), 研究代表者

【講演等】

1. 都立北特別支援学校東大こだま分教室授業研究会講演, 2016年2月12日
2. 国立特別支援教育総合研究所研修講師, 2016年3月15日
3. 品川区立品川学園研修会講演 (東洋大学全国講師派遣事業), 2016年7月1日
4. 都立北特別支援学校病弱部門授業力向上研修会講演, 2016年8月2日
5. 島根県川本町教育委員会講演 (東洋大学人間科学総合研究所事業), 2016年8月22日
6. 品川区立品川学園校内研究会研修講演, 2016年9月14日
7. 国立特別支援教育総合研究所専門研修講師, 2016年9月29日
8. 品川区立品川学園校内研究会研修講演, 2016年11月10日

<教育活動>

【学内】

(学部) 教職総合ゼミナール (I部), 教育学ゼミナール I・II (I部), 教育心理学概論 (I・II部), 生涯発達心理学 (I・II部), 教育学卒論ゼミナール (I・II部), 教職実践演習 (II部)

(大学院) 教育心理学特殊講義, 生徒指導・進路指導特殊講義, 教育学研究指導XII, 教育学特殊研究III, 教育学研究指導III

【学外】

(学部) 学習院大学教職課程「教育相談C」

(大学院) 立教大学大学院「特殊教育研究5」

<大学・学部管理運営活動>

1. 平成28年度文学部II部教育学科長

<学会活動>

1. 日本質的心理学会 (常任理事: 2016年3月まで)
2. 日本育療学会 (理事・編集委員)
3. 日本発達心理学会 (学会誌査読委員)
4. 日本発達障害支援システム学会 (学会誌編集委員)
5. 日本教育心理学会 (学会誌編集委員)
6. 日本特殊教育学会 (会員)
7. 日本医療保育学会 (会員)
8. 日本小児保健学会 (会員)
9. 日本健康心理学会 (会員)
10. American Psychological Association (会員)

<社会的活動等>

1. 東京都立久留米特別支援学校 学校評価委員・学校運営協議会委員
2. 東京都立北特別支援学校 学校運営協議会委員

長谷川 勝久

<研究活動>

【論文】

1. 廣瀬隆司, 坂井武司, 石内久次, 長谷川勝久, 松崎昭雄, 齋藤昇, 清水翔太 (2016): 「児童の「小数×小数, 小数÷小数」に関する方略の発達」, 数学教育学会誌Vol.56/ No.3・4, pp.147-159
2. 廣瀬隆司, 坂井武司, 石内久次, 長谷川勝久, 松崎昭雄, 齋藤昇, 古谷公一 (2016): 「算数教育における教師の授業実践力に関する尺度開発」, 数学教育学会誌Vol.56/ No.3・4, pp.161-169
3. 廣瀬隆司, 長谷川勝久, 坂井武司, 石内久次, 齋藤昇, 松崎昭雄 (2016): 「算数教育におけるAbductionに関する授業研究—第6学年の児童を対象とした授業実践に焦点を当てて—」, 数学教育学会誌Vol.56/ No.3・4, pp.183-195
4. 廣瀬隆司, 長谷川勝久, 齋藤昇 (2016): 「算数教育における児童の仮説設定と検証に関する研究—第5学年におけるAbductionに関する授業実践に焦点をあてて—」, 数学教育学

会誌Vol.57/ No.1・2, pp.51-62

【学会発表等（学会シンポジウム提案を含む）】

1. 長谷川勝久, 今井智貴, 畠野真理子 (2016): 「シンポジウム「改めて問う数学教育における”実践”の意味」「実践的な指導力を育成するための教員養成の在り方—往還型教育システムを通して—」, 2016年度数学教育学会夏季研究会（関西エリア）発表論文集pp.67-70.
2. 畠野真理子, 佐久間大, 長谷川勝久, 高石哲巳, 今井智貴 (2016): 「模擬授業後の授業省察場面で用いる学習反応可視化手法の検討」, 日本教育工学会第32回全国大会発表論文集, pp.469-470
3. 佐久間大, 高石哲巳, 畠野真理子, 今井智貴, 長谷川勝久, 室田真男 (2016): 「「授業の成立が困難な学級」を想定した模擬授業のデザイン」, 日本教育工学会第32回全国大会発表論文集, pp.491-492
4. 今井智貴, 佐久間大, 長谷川勝久, 高石哲巳, 畠野真理子 (2016): 「児童生徒の実態イメージカードを用いた模擬授業が授業省察観点に与える効果の検討」, 日本教育工学会第32回全国大会発表論文集, pp.493-494

<教育活動>

【学内担当授業科目等（学部・大学院）】

(学部)

1. 初等科算数
2. 初等教科教育法（算数）
3. 教育評価論
4. 教育評価
5. 教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ
6. 教育学科卒論ゼミナール
7. 初等教育実践研究A
8. 初等算数特講

(大学院)

1. 算数・数学科教育研究演習
2. 算数・数学科教育特殊講義

(通信)

1. 教育方法研究（情報機器の活用を含む）

<大学・学部管理運営活動>

1. 全学FD推進委員会委員
 - (1) 授業評価手法検討部会部会長
 - (2) 教育改善対策部会委員
2. アセスメント検討小委員会
3. 井上円了哲学塾運営委員

<主な所属学会>

1. 日本教育工学会（会員）
2. 教育システム情報学会（会員）
3. 日本数学教育学会（会員）
4. 数学教育学会（会員）
5. 全国数学教育学会（会員）
6. 日本科学教育学会（会員）
7. 教育目標・評価学会（会員）
8. 日本教育実践学会（会員）

他

藤本典裕

<研究活動>

【著書】

【論文】

1. 教育課程の法と行政
『教育課程』山崎準二編著、学文社、2016年1月30日、pp.39-53
2. 学習指導要領の変遷と課題
『新しい教育事情』私立大学通信教育協会編、私立大学通信教育協会発行、2016年2月1日、pp.133-140
3. 教員の養成と採用
『新版教職入門』藤本典裕編著、図書文化、2016年3月10日、pp.115-144
4. 教員の地位と身分
『新版教職入門』藤本典裕編著、図書文化、2016年3月10日、pp.145-162
5. 学校の管理・運営
『新版教職入門』藤本典裕編著、図書文化、2016年3月10日、pp.163-186

【その他】

1. 「ゆたかな」関係性へ—財政シンポでのまとめの発言から—
『子どものための学校事務』全国学校事務職員制度研究会編、No.132、2016年3月11日、pp.21-26
2. 40年前の「心配」（巻頭言）
『パイディア』（東洋大学教職課程運営委員会・東洋大学教務部教職・共通教育支援課）、27号、2016年4月1日、p.3
3. 教師をめざすみなさんへ
『パイディア』（東洋大学教職課程運営委員会・東洋大学教務部教職・共通教育支援課）、27号、2016年4月1日、pp.4-8

4. 分科会報告21「教育条件確立の運動」

『日本の民主教育：教育研究全国集会2016報告集』みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい教育研究全国集会2016実行委員会編、大月書店、2016年12月26日、pp.260-270

【講演等】

1. 子どもの貧困に気づく・伝える・取り組む—学校事務職員としてできること—
平成28年度 第2回浜松市教育研究会（事務研究部）、浜松市教育委員会及び浜松市教育研究会共同開催、於浜松市総合産業展示館、2016年7月27日
2. たかがアニメの教育学
豊明市合同家庭教育学級、2016.09.13.
3. 子どもと教育—たかがアニメの教育学—
いきがい大学春日部、於春日部市庄和保健センター本館、2016.09.08.
4. 子どもの貧困と教育を受ける権利—学校事務職員としてできること—
和歌山制度研大会、2016.09.16.
5. 教育を考える—身近なヒントをみつけて—
東京成徳大学高等学校、2016.11.05.
6. たかがアニメの教育学
松伏町中央公民館、2016.12.08.

【学会活動】

日本教育学会（会員）、日本教育行政学会（会員）、日本教育法学会（会員）、日本教師教育学会（会員）、日本教育政策学会（会員）

<教育活動>

【学内】

教職論（Ⅰ部1.0コマ、Ⅱ部0.5コマ）、教育基礎論（0.5コマ）、教育制度論（0.5コマ）、教職概論（Ⅰ部0.5コマ）、教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ・卒論ゼミナール（Ⅰ部1コマ、Ⅱ部1コマ）、教育基礎論Ⅰ（通信教育課程、0.5コマ）、教育行財政学研究演習（大学院博士前期、1コマ）、教育学特殊研究Ⅷ・教育学研究指導Ⅷ（大学院博士後期、1コマ）

【学外】

教育原論（立教大学、0.5コマ）、教職概論（立教大学、0.5コマ）、教育制度論・課程論（立教大学、1コマ）、教育学（法政大学、0.5コマ）

<社会的活動>

<大学・学部管理・運営活動>

教職課程運営委員会委員長

宮本直樹

<研究活動>

【論文】

1. 「科学的探究プロセスにおける数量化とデータ解釈 —Students and Research Practical Strategies for Science Classrooms and Competitionsに着目して—」, 東洋大学文学部紀要, 第69集, 教育学科編XLI, 2016年3月, pp.107-114
2. 「振り子の運動と自由落下運動, 斜面を滑り降りる運動に関する児童の考え」, 教育実践学会, 『教育実践学研究』, 第19号, 2016年3月, pp.129-138
3. 「コミュニケーション活動におけるデータ解釈 —サイエンス・プロセススキルを中心に—」, 日本教材学会, 『教材学研究』, 第27巻, 2016年3月, pp.101-108
4. 「科学的探究における仮説設定がデータ解釈に及ぼす効果—中学校第2学年『唾液のはたらき』を事例にして—」日本科学教育学会, 『科学教育研究』, 第40巻, 第2号, 2016年6月, pp.234-240

【学会発表】

1. 「児童のデータ解釈能力を高める言語活動—コミュニケーション活動に着目して—」, 『日本理科教育学会第66回全国大会信州大会論文集』, 2016年8月, p.284

【研究助成】

1. 米国中等後期物理教科書と日本の高等学校物理教科書におけるデータ解釈の特質の比較研究, 平成28年度公益財団法人中央教育研究所教科書研究奨励金助成, 研究期間: 2016年6月~2017年3月(研究代表)

【その他】

1. 「たのしい理科」小学校理科教科書、有馬朗人ほか、大日本図書、2016年2月

<教育活動>

【学内】

(学部) 初等科理科、初等教科教育法(理科)、初等教科教育法(生活)、教育学ゼミナールⅠ・Ⅱ、教育学卒論ゼミナール、初等教育実習、教育実習Ⅰ・Ⅱ(2部)、教職実践演習

(大学院) 理科教育研究演習、環境教育論特殊講義

<大学・学部管理運営活動>

1. 自然科学委員会
2. 教職課程運営委員会教育実習小委員会小委員長

<学会活動>

日本理科教育学会会員、日本科学教育学会会員、日本エネルギー環境教育学会会員、教育実践学会会員、日本物理教育学会会員、日本環境教育学会会員、日本教材学会会員、日本教育心理学会会員

矢口悦子

<研究活動>

【共著書】

1. 日英教育学会編『英国の教育』東信堂、2017年2月(予定)。(執筆箇所「第5章第3節 成人の教育」)

【その他】

1. 「文学部だより」東洋大学甫水会報『東洋』第156号、2016年12月
2. 「文学部における改革とFD活動」東洋大学文学部『文学部自己点検・評価報告書』(2014年度データブック)、2016年
3. 読売新聞 発言記事掲載、2016年11月29日
4. 日本経済新聞 インタビュー記事掲載、2016年12月24日

【講演等】

1. 「東洋大学への女子学生入学から100年—先人の努力を受け継ぎ、未来を描く—」男女共学100周年記念事業学生企画 講演、2016年5

月21日

2. 「東洋大学男女共学100年の歴史と未来—ダイバーシティ推進への新たな挑戦—」ミニ講演と企画審査、2016年10月23日
3. 「未来貢献プロジェクト 男女共同参画シンポジウム」東洋大学主催、読売新聞社共催、内閣府講演、パネリスト、2016年10月29日
4. 「災害が照らした男女共同参画センターの役割」大阪市寝屋川市男女共同参画センター(東洋大学講師派遣事業)、講演、2016年12月12日

<教育活動>

【学内担当授業科目等】

- (学部) 生涯学習概論Ⅰ(1部)、同Ⅱ(1部)、教育学ゼミナールⅠⅡ(1部)、卒論ゼミナール(1、2部)、初等科家庭(1部)
- (大学院) 生涯学習計画特殊講義(博士前期課程)、教育学研究指導Ⅰ(博士前期課程)、教育学特殊研究Ⅰ(博士後期課程)、教育学研究指導Ⅰ(博士後期課程)

<大学管理運営活動等>

1. 文学部長
2. 大学院文学研究科委員
3. 東洋大学評議員
4. その他 役職上の委員：省略

<学会活動>

1. 日本社会教育学会(会員)
2. 日本教育学会(会員)
3. 日英教育学会(会員)
4. 日本公民館学会(会員)

<社会的活動等>

1. 一般財団法人日本青年館評議員

編集委員

榎本淳子
関直規

東洋大学文学部紀要第70集

教育学科編 XLII

〔非売品〕

2017（平成29）年3月1日 印刷

2017（平成29）年3月1日 発行

編集者 東洋大学文学部 教育学科

発行所 東洋大学

東京都文京区白山5-28-20